

4・19 法大-文科省へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年 4月9日

No 17

Tel 050-3036-6464

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

4・19 法大闘争へ② ～「営業権」粉碎!～

「営業権」掲げ学生のビラまきを弾圧

2009年3月、法大当局は学生のビラまき・情宣活動を「営業権の侵害である」として半径200メートル以内で禁止するよう裁判所に仮処分を申し立てるといふ暴挙を行ってきた。(裁判所もこれを認めた)以後法大当局は現在に至るまで、入試期間中は毎年この「仮処分」を申し立て、法大を事実上の憲法停止状態においている。

この「営業権」こそ、不当弾圧や処分の正体であり、法大当局の本音そのものである。

要は「金儲けの邪魔をするな」ということであり、教育をもビジネスにしてきた新自由主義の本性がここで完全に明らかになったということである。

2006年以降、法大当局は不当逮捕や処分を乱発する一方、文連を非公認化し飲酒規制・学祭規制・サークル活動規制を強めてきた。「施設管理権」を主張し、「最終決定権は大学にある」としてキャンパスを私物化してきた。

サークル含めた学生の活動は一切が当局の利潤追求の役に立つかどうかで判断され、利潤にならないものは暴力的に排除されてきた。今の「原子力ムラ」に象徴される大学の腐敗した現状は、資本の利潤追求のみを求める法大当局の「営業権」つまり「教育の民営化」にこそ本質がある。

「教育の民営化」と対決する文連と全学連

全学連と文化連盟はこうした法大当局に対して「教育の民営化絶対反対」を掲げて闘いぬいてきた。そしてカリフォルニア大学やドイツの学生など、「教育の民営化」と闘う全世界の学生との団結を作り出してきた。

いまや「新自由主義大学」の反動性・破綻性は3・11でもって完全に明らかとなっている。「命よりも金儲け」これが法大当局、そして福島大当局の本音である。4・19は「教育の民営化」粉碎の闘いとして福島はじめ全世界の仲間と団結して闘おう! 残り10日間、全力で組織化を!



2010年、カリフォルニアで「教育の民営化」に反対を掲げて闘われた100万人の教育ゼネストに全学連・文連が合流!



「原発再稼働阻止! 不当処分撤回!!」 法大包囲デモ

4月19日(木) 正午 法政大学市ヶ谷キャンパス
正門前集合

文部科学省申し入れ-包囲行動

4月19日(木) 15時 経済産業省前テント集合
「2011シーベルト基準」撤回を求める申し入れ書を提出します。
行動終了後の18～20時に屋内会場で総括集会を行います。



昨年10月21日、福大生とともに福大キャンパスで集会!

全国大学の新歓闘争報告！

●東北大学

東北大では、4月2日から3日間で84筆のNAZEN「反原発」署名が集まりました。開講を前にして、すでに数人の新入生が自治会主催の『チェルノブイリ・ハート』上映会や書記局会議に参加しています。5日の入学式では、今年も学生自治会に対するネガティブ・キャンペーンが行われましたが、参加した新入生の話では「総長」補佐・東谷篤志のアナウンスは全く覇気はなし。「学生自治会は反原発を主張して近付いて来るので気を付けて下さい」などと言いつつも、「個々人の思想・信条は自由です。ただ本学では学外の政治団体と強く結び付いて活動することを認めていません」と例年と比べて控えめなことしか言えなかったということが伝わって来ています。

東北大は9日から開講します。新入生とのさらなる合流に向けて頑張ります！

●京都大学

京大大学奪還学生行動は、4月3～5日の紅崩祭（健康診断）に登場し、新入生に「原発推進の京大を変えよう」「学生自治会を復権させよう」と訴えました。多くの新入生がNAZEN「反原発」署名に協力してくれ、「原発には絶対反対です」「大学当局への行動はいつやるんですか？」と、大学と原発をめぐる議論が大いに盛り上がりしました。



説明会とその後の新歓バーベキューにも多くの学生が参加。新学期からの新たな闘いに向け、最高のスタートを切ることでなりました。

●福島大学

4月4日、福大での入学式でピラマキとNAZEN「反原発」署名集めをやりました。

前日から暴風雨、当日も強風と時折雪が舞っていて入学式は1時間おくれとなりましたが、新入生・編入生と保護者はみな元気で、議論にもなります。

許しがたいのは大学職員。学生課と副学長が上からずっと監視し、新入生を威圧しています。あの清



↑ 4月8日、福島大生も合流し青森でNAZEN結成集会とデモを打ち抜く！

水修二「教授」（3月で副学長を辞任）も来ました。ピラを受け取った学生に声をかけていきます。「原発反対の全学連とつきあうな」と！しかし原発反対の思いはそんなものでつぶされません。署名も集まり、講演会に行きたいという学生が結構いました。

週明けからはいよいよ開講。福大からの運動で原発を廃絶させるために、講演会の成功と4・19の結集に向けがんばります。

●広島大学

こちらの真剣な訴えに、新入生も真剣に聞いてくれるし、真剣に返答を返してくれます。昨年の3・11からの自分たちの運動を提起して、ある新入生は、「原発事故のこといろいろ知りたいと思っています。再稼働はして欲しくありません。署名集めや、チラシづくりなどで私なりに参加できたら嬉しいです。スピーチからすごく気持ちが伝わってきました。もっとこのような人が日本に必要だとおもいました。」と感想をよせてくれました。また、そのほかにも意見が多数寄せられ、「冷戦の後、共産・社会主義国家が崩壊した中で、資本主義に代わる他の政治形態があるかどうかを知りたいです」など、時代を根本的に問う問題意識も出されました。全部で69以上の意見が寄せられました。

学生は、3・11から1年たって、真剣に考えている。原発事故も過去のことではなく、自分の問題ととらえて真剣に考えている。今年、さらに大学を、反原発・反戦・反核の砦に！

●沖縄大学

PAC3や自衛隊が沖縄本島や宮古島・石垣島に物々しく乗り込んでき



↓ 沖縄・石垣島に配備された地对空誘導弾PAC3

た翌4日、沖縄大学の入学式が行われ、ここに「基地と原発をなくして社会を変えよう！」というピラとNAZEN「反原発」署名をもって登場しました。入学式は外会場で行われたのですが、当局職員が「勧誘するサークルは事前申請だ。一緒にまくな」と妨害。許しがたい新歓規制です。しかし、職員の威圧をものともせず、用意した500枚のピラはすべて受け取られました。署名も父母をまきこんでどんどん集まり、34筆が集まりました（うち新入生22筆）。

入学式やその後のキャンパス登場で次々と結合が始まっています。履修登録や健康診断に来ている新入生や在校生が「福島の人を見捨てているのは許せない」「基地と構図は同じ」「集会には行きたい」と署名をしています。

来週月曜日はいよいよ開講です。PAC3配備、原発再稼働を許すな！法政大、福島大はじめ全国の闘いと連帯し、5月沖縄闘争への大結集をかちとるためにがんばります。